



## 手順書例

- 「特定看護手順書」作成にあたって ..... 35  
手順書とは、手順書例の紹介
- 手順書例1 ..... 36  
気管カニューレの交換
- 手順書例2 ..... 37  
胃ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換
- 手順書例3 ..... 38  
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
- 手順書例4 ..... 39  
脱水症状に対する輸液による補正

## 「特定看護手順書」作成にあたって

### ■ 手順書とは

手順書は、医師または歯科医師が、看護師に診療の補助を行わせるための包括的指示書として作成する文書です。特定行為研修省令で示されている具体的な記載事項は、以下のとおりです。

1. 看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲
2. 診療の補助の内容
3. 当該手順書に係る特定行為の対象となる患者
4. 特定行為を行うときに確認すべき事項
5. 医療の安全を確保するために医師または歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制
6. 特定行為を行った後の医師または歯科医師に対する報告の方法

なお、3の「当該手順書に係る特定行為の対象となる患者」とは、その手順書を適用する患者の状態を指します。患者は、医師または歯科医師が手順書により指示を行う時点において、特定されている必要があります。

手順書の具体的な内容については、1～6の手順書の記載事項に沿って、医師または歯科医師があらかじめ作成することになっています。また、各医療現場の判断で、記載事項以外の事項や、その具体的内容を追加することもできます。

### ■ 手順書例の紹介

今回、ご紹介する手順書は、医療法人社団平郁会で実際に使用されているものです。在宅領域パッケージ研修を修了した特定看護師が使用しているもので、看護師が手順書を作成し、医師が確認、修正することで運用しています。ご紹介した手順書例をもとに作成いただくことは問題ありませんが、必要に応じて、医師または歯科医師と特定看護師とで連携し、内容の追加、修正、変更をお願いいたします。

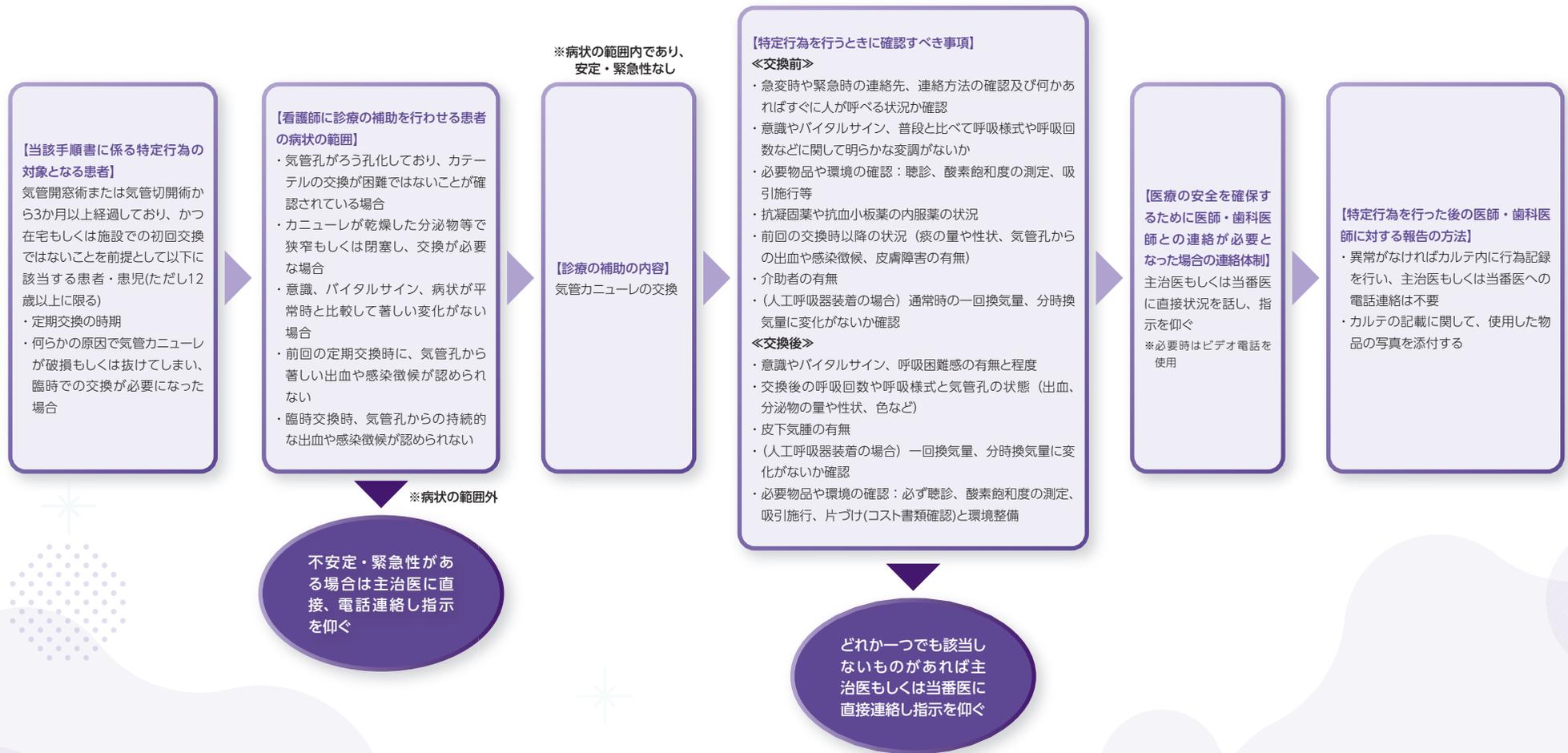
また、厚生労働省のホームページにも手順書例が紹介されていますので、ご参考にしてください（P14）。



## 手順書例

## 手順書例1

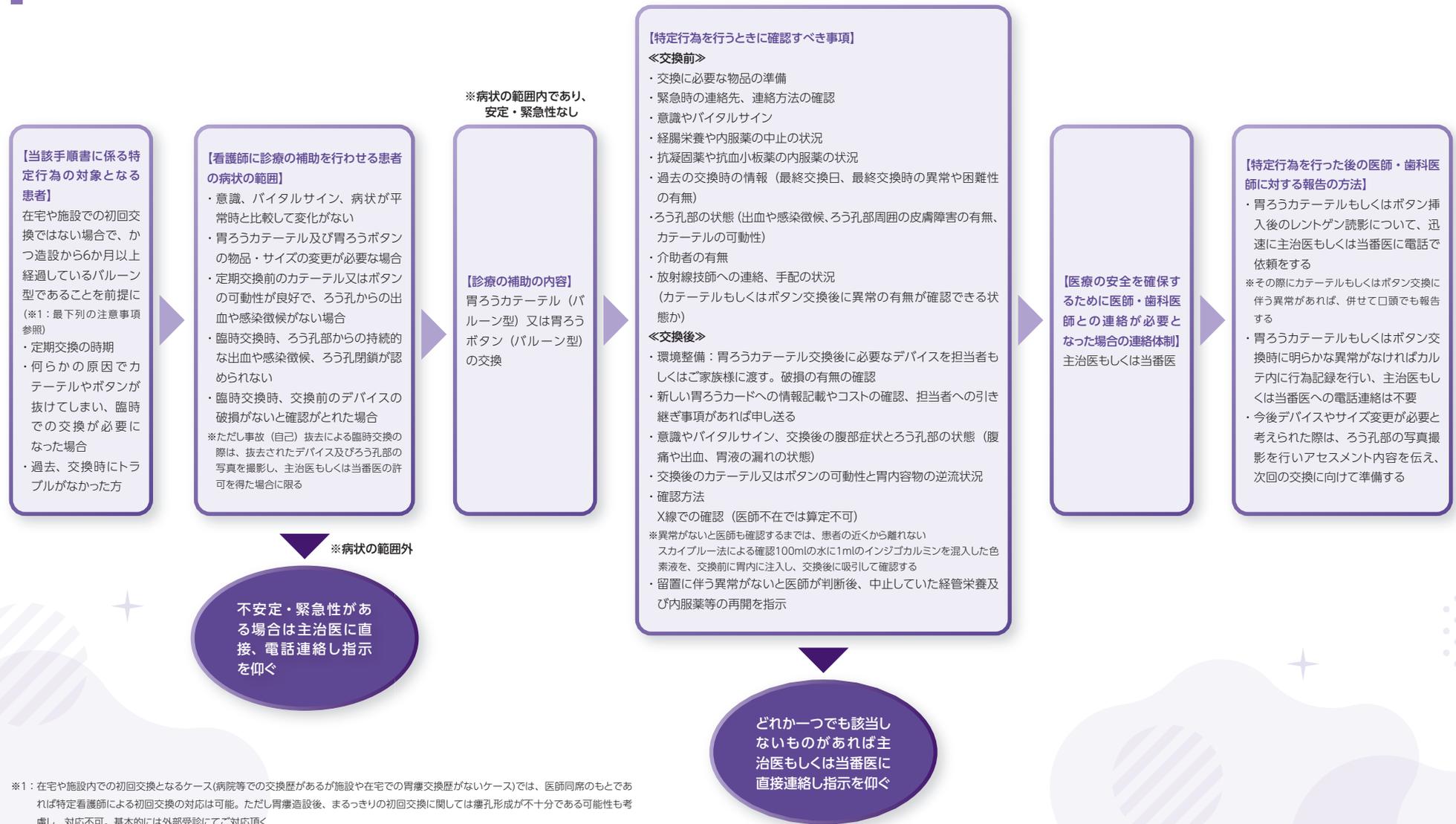
## 気管カニューレの交換



## 手順書例

## 手順書例2

## 胃ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換

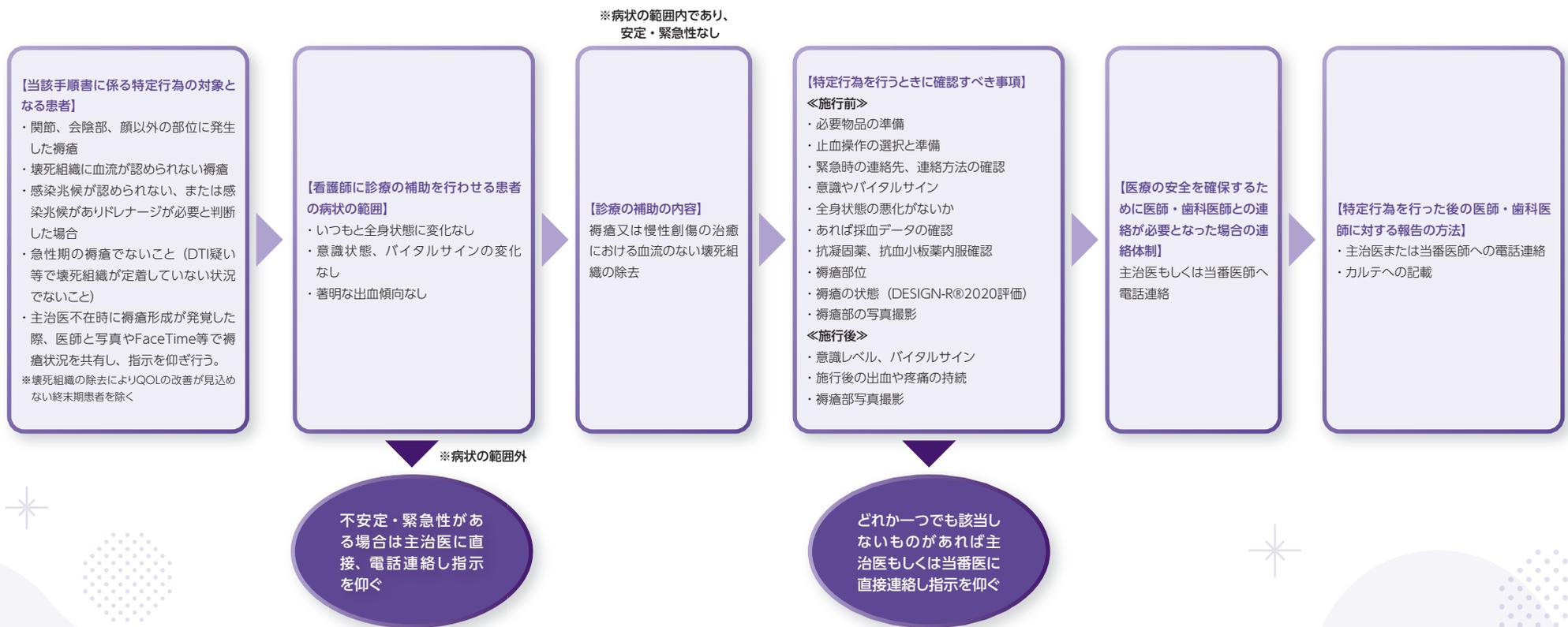


※1：在宅や施設内での初回交換となるケース（病院等での交換歴がある施設や在宅での胃腸交換歴がないケース）では、医師同席のもとであれば特定看護師による初回交換の対応は可能。ただし胃腸造設後、まるっきりの初回交換に関しては嚙孔形成が不十分である可能性も考慮し、対応不可。基本的には外部受診にてご対応頂く

## 手順書例

## 手順書例3

## 褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去



## 手順書例4

## 脱水症状に対する輸液による補正

